

四季彩 織りなす風景都市

福井市景観基本計画・概要版

～住みたくなる心地よい景観をめざして～

「あの突然はじめて町を目にした時の感動は生涯忘れないだろう」

町は雪片を帯びた空気の中を、盆地の向こうにぼんやりと、
樹木にこんもり囲まれ、嵐雲にあたって反射した光の中に見えていた。
(中略)

そして今、見るのはただ黒っぽく広がる屋根の低い家、
大きな寺院、切妻、天守閣、竹藪、それに森であった。
これが福井であった。

－ W・E・グリフィス －（「明治日本体験記」より）



東山公園から望む福井平野と国見岳方面

福井市景観基本計画とは

「景観十年、風景百年、風土千年」と言われるように、人々の心に心象として残る美しい景観・風景を形成するためには、長い年月がかかります。

また、「福井らしさ」が感じられる景観を形成するためには、市民や団体、事業者と行政が目標を共有し、一緒になって守り・創り・育んでいく必要があります。

『福井市景観基本計画』は、長期的・総合的な視点に立って、市民が誇りをもつことができる望ましい将来の景観像を描くとともに、これを実現するために必要な景観形成に関する基本的な方向性を明らかにしたものです。

1. 福井市の景観特性

福井市は、日本のほぼ中央に位置し、日本らしい四季の変化が感じられます。市街地の周囲には米どころ福井を支える豊かな田園景観が広がっています。広大な福井平野にあって、市街地の中心に位置する足羽三山がまちの「目印」となっており、市街地の中心を流れる足羽川の桜堤とともに「さくら名所100選」にも選ばれています。



日本海特有の荒波が押し寄せる冬の越前海岸



「さくら名所100選」に選ばれる足羽川の桜堤



ふるさとの原風景となる田園と山並みの景観

福井平野の東には、白椿山や飯降山などの山々が連なり、遠くには白山連峰を望むことができます。西は国見岳や高尾山などを頂として切り立ち、日本海に迫っています。

これらの地理的特徴により、市街地景観や田園景観、山地景観、海岸景観などの特徴ある景観構造を創り出しています。

2. 福井らしい景観とは

景観は、見られるモノ（視対象）と、それを見る場所（視点場）、両者を結ぶ線（視線軸）によって構成されますが、実際にはもっと広い視野で空間を捉えています。

すなわち、視対象となるモノの周囲やその背景にある空間（景域）を含めて、景観を捉えることが重要となります。

四季の変化を感じる美しい自然、重厚な歴史に育まれた独自の文化などといった、様々な景観要素が互いに織りなすことによって、シーンとストーリー性のある、まるで「映画のような景観」が福井には存在していると言えます。

また、福井市は、全国で住み良い都市総合1位であり、今後、市民がさらに誇りをもって暮らしていける願いも込めて、本計画では「福井らしい景観」を次のように定義します。

福井らしい景観とは・・・

『美しい自然に歴史・文化が溶け込んでいる、
日本の原風景が感じられる景観』

福井らしい景観を形成するとは・・・

『地域固有の自然や歴史・文化を守り、未来に引き継ぐこと』
そして、
『自然や歴史・文化と都市が融合するようにまちをデザインすること』

福井らしい景観を実感できる場所・・・

『福井都心地区』

JR福井駅を玄関口とした、福井の中心である「都心地区」は、福井城址や養浩館庭園、まちの目印である足羽山や足羽川をはじめとする景観資源が幾重にも織りなしている場所であり、もっとも福井らしさを実感できる場所と言えます。

3. 景観形成の基本理念

これからの景観形成においては、福井市の自然や歴史・文化を再評価・再認識するとともに、景観の中に上手く取り込み、「福井らしい」と全国に認められるものでなければなりません。

そのためにも、市民・団体、事業者、行政が互いに景観形成の基本理念や目標を共有するとともに、それぞれの果たすべき役割を明確にしながら、「協働」により「福井らしい景観」を守り、創り、育んでいかなければなりません。

そこで、福井市における景観形成の基本理念として、以下の3つを掲げます。

福井らしい景観を守る

市民の心象に焼きついて
いる日本の原風景とも言う
べき美しい自然及びこれら
とともに育まれてきた生活
や文化、歴史を良好に保全
し、未来に引き継いでいき
ます。



足羽山から望む市街地と遠景の山並み

世界に誇れる 美しい福井を創る

福井固有の景観資源を市
民共通の資産として共有し、
併せてその周辺の景観を整
備することでさらに磨きを
かけ、世界に誇れる「福井
らしい景観」を創出します。



福井城址とその向こうに見える白山

市民とともに 創り・育てる

景観づくりの目標やイメ
ージを市民・団体、事業者、
行政が共有し、互いが連携
・協働することにより、「福
井らしい景観」を創り・育て
ていきます。



市民主体によるまちかどの花壇づくり

4. 景観形成の目標

福井には、日本の原風景とも言うべき美しい自然があり、日本らしい四季の変化を感じることができます。

また、先人たちが築き、育んできた福井固有の歴史や文化、生活や営み、そして「まち」の賑わいなどは、すべてこの美しい自然に溶け込み、「福井らしい景観」となっています。

人と自然、歴史、文化、そして「まち」が羽二重のように織りなし、「福井らしさ」が心象風景として人々の心に残る美しい都市を創造します。

そして、市民が誇りをもって、いつまでも住み続けたいと思うような、誰もが住んでみたいと思うような「心地よい」景観を形成することを目指して、景観形成の目標を次のように定めます。

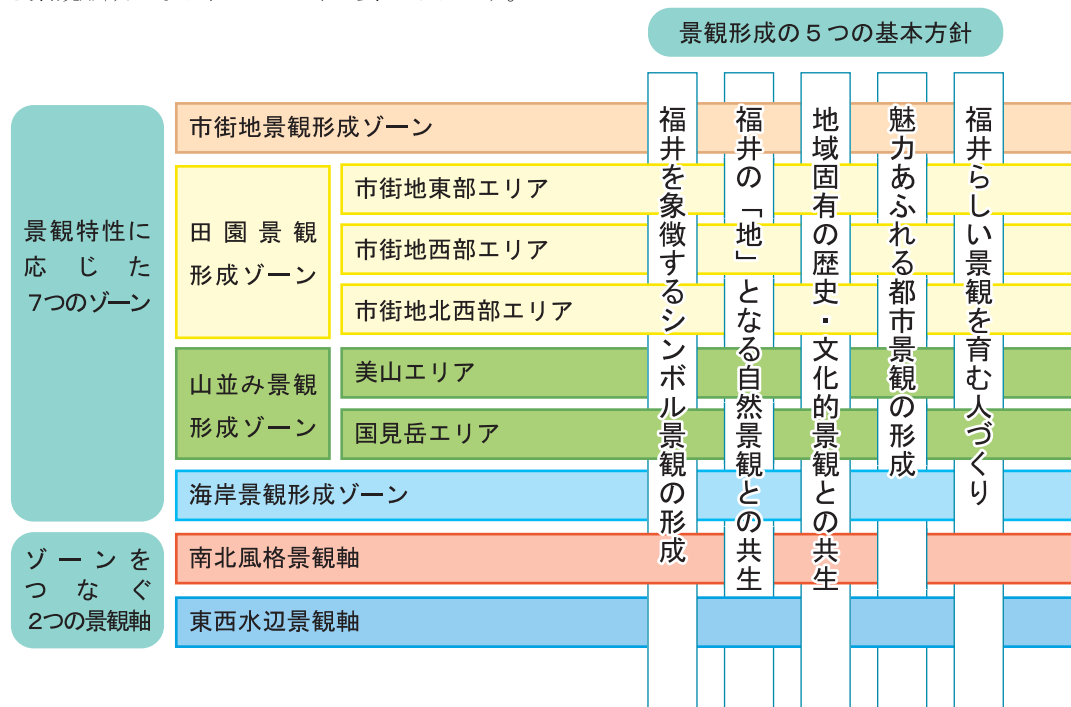
四季彩 織りなす風景都市
～住みたくなる心地よい景観をめざして～

5. 景観形成の基本方針

「四季彩織りなす風景都市」を実現するためには、日本の原風景とも言うべき美しい景観の保全及び継承、福井らしい景観と調和するまちのデザイン、市民協働の推進などといった、多様な取り組みを総合的に行っていく必要があります。

また、画一的な景観を形成するのではなく、全体としての調和を保ちながらも、地域の個性が感じられる景観形成に取り組んでいく必要があります。

そこで、景観形成に関する5つの基本方針を柱として、地域の景観特性に応じた7つのゾーン及び各ゾーンをつなぐ2つの景観軸に関する景観形成の方針を定め、それぞれの取り組みがお互いに織りなすことによって、目標とする景観像の実現を目指します。



基本方針1 福井を象徴する『シンボル景観』の形成

(1) まちの目印である「足羽三山」を際立たせる

- ① まちなかに四季を彩る自然を保全します
- ② 足羽三山への眺望を保全します
- ③ 水や緑、灯りを活かしながら足羽三山への回遊性を高めます
- ④ 視点場として整備・演出します

桜橋から見る足羽山



(2) 福井らしさを実感できる「都心地区」のシンボル性を高める

- ① 県都福井の玄関口を良好に演出します
- ② 質の高い都市空間を整備・誘導します
- ③ 福井の「街」の礎となった歴史を活用します
- ④ 福井のシンボルとなる自然景観を活用します
- ⑤ 回遊性の創出、視点場の整備・演出を行います

駅前電車通り



福井市自然史博物館の屋上から見下ろす市街地の景観

(3) 悠久の自然と歴史、生活文化を感じる「一乗谷」を継承する

- ①本物の歴史が感じられる一乗谷朝倉氏遺跡を保全・活用します
- ②戦国ロマンの舞台となった美しい自然を保全します
- ③歴史的な雰囲気と調和した公共空間の整備を進めます
- ④歴史景観や自然景観と調和のとれたまちなみを誘導します
- ⑤視点場として整備・演出します

一乗谷朝倉氏遺跡（唐門）



(4) 人と自然に培われた「越前水仙の里」を保全する

- ①地域の生業に育まれた越前水仙畑を保全・継承します
- ②越前水仙を育む特徴的な集落景観を保全します
- ③公共空間や建築物等を整備・誘導し、観光拠点としてのシンボル性を高めます
- ④視点場として整備・演出します

一面の水仙畑と越前海岸



基本方針 2 福井の「地」となる『自然景観』との共生

(1) まちの背景となる「山並み」の景観を保全する

- ①四季を彩る山並みの景観を保全します
- ②山並みへの眺望を阻害しないよう建築物等を適正に規制・誘導します
- ③ふるさと福井を見下ろす視点場として活用します

国見岳から見下ろす日本海



(2) ふるさと福井の原風景となる「田園景観」を保全する

- ①ふるさとの原風景となる田園景観を保全します
- ②田園に点在する集落景観を保全・誘導します
- ③田園景観を阻害しないよう建築物等を適正に規制・誘導します

広大な田園と集落の景観



(3) 白砂青松と奇岩奇勝が続く「海岸景観」を保全する

- ①海と山とが一体となった美しい海岸景観を保全します
- ②美しい自然と調和する公共空間の整備・修景を進めます
- ③連続した海岸景観を楽しめる整備・演出を行います

江津浦自然公園



(4) まちに潤いを与える「水辺景観」を保全する

- ①身近なオープンスペースとして河川や水路を積極的に活用します
- ②周辺景観との調和に配慮した整備・修景を進めます
- ③市民に親しまれる水辺景観づくりを進めます

志津川の堤防に咲く芝桜



福井市自然史博物館の屋上から見下ろす市街地の夜景

基本方針3 地域固有の『歴史・文化的景観』との共生

(1) 地域固有の「歴史景観」を継承する

- ①地域の歴史を物語る重要な歴史景観資源を保全します
- ②地域のランドマークとなっている樹木を保全します

蓬萊の里（伊自良氏館跡）



(2) 人々の生活や営みに支えられた「文化的景観」を保全する

- ①人々の生活や営みに支えられた文化的景観を継承します
- ②地域資源を活かしたまちづくり活動を支援します

高須町の棚田景観



(3) 地域固有の様相を残す「伝統的な家並み」を保全する

- ①各種制度を活用しながら、伝統的な家並みを保全します
- ②伝統的な家並みと調和のとれた集落景観の形成を図ります

(旧)北陸道の家並み



基本方針4 魅力あふれる『都市景観』の形成

(1) 快適で潤いのある「道路景観」を形成する

- ①ゆとりと潤いのある道路空間を形成します
- ②まちの方角を意識した道路景観を形成します
- ③ストリートファニチャー等の工夫により、通りに個性や連続性を創出します
- ④魅力ある歩行者空間を形成します
- ⑤市民との協働により、道路景観のさらなる魅力向上を図ります

さくら通り



(2) 福井らしい「鉄道景観」を演出する

- ①降り立つ人が福井らしさを実感できる駅景観を形成します
- ②周辺の景観と調和した鉄道施設を整備します

大名町交差点と路面電車



(3) 福井らしい「建築物等」を誘導する

- ①景観形成の先導役として、公共施設を魅力的にデザインします
- ②大規模な建築物等を良好にデザインします
- ③安らぎのある住宅地景観を形成します
- ④もてなしと賑わいのある商業地景観を形成します
- ⑤潤いのある工業地景観を形成します

福井駅周辺の大規模建築物



(4) 福井らしい「屋外広告物」を誘導する

- ①「福井市屋外広告物条例」に基づく適正な規制・誘導を行います
- ②建築物と一体となって良好なまちなみを形成します
- ③福井らしさを象徴する場所では重点的に規制・誘導を行います
- ④良好な沿道景観の形成を図ります

集約化された屋外広告物



(5) 福井らしさをイメージする「サイン等」を設置する

- ①統一性のあるサインを設置します
- ②地域の景観特性を活かしたサインやモニュメントを設置します

福井市公共サイン



(6) 「水と緑の回廊」を創出する

- ①足羽三山や足羽川につながる水と緑のネットワークを形成します
- ②緑豊かなオープンスペースを創出します
- ③まちなかにきめ細かく緑を配置します

市民の手による沿道への花植え



(7) 魅力ある「夜間景観」を創出する

- ①福井らしさが実感できる場所を魅力的に照らします
- ②人々を誘導する光の回廊を形成します
- ③夜間景観を眺望する視点場を整備・活用します
- ④地域固有の景観資源に光を当てます
- ⑤市民・団体、事業者との協働により推進します

福井城址のライトアップ



基本方針 5 福井らしい景観を育む『人づくり』

(1) 福井プライドをもった「市民の育成」

- ①マスメディアの活用や、様々な場や機会を用意し、景観に対する価値観の醸成を図ります
- ②福井市民であることを誇りにもち、福井らしさを語ることができる市民を育みます

協定により緑化している住宅地



(2) 「市民参画体制」の確立

- ①市民・団体、事業者、行政の役割分担を明確にします
- ②多くの人が参画できる場を用意します
- ③助成や支援体制を充実します
- ④市民提案制度を活用します

ふくいエキマエ七夕祭り



(3) 優れたデザインを生み出す「仕組みづくり」

- ①景観形成に関する窓口を専門化します
- ②景観アドバイザーの認定など、専門的な立場から審査・助言する体制を確立します

市民との協働により造られた公園



足羽山から望む市街地と遠景の山並み

6. ゾーン別景観形成の方針

《各ゾーンや景観軸に共通する景観形成の基本方針》 市民が誇りに思っている「視点場」からの景観の保全

南北風格景観軸

《景観形成のテーマ》

歴史と賑わいが物語る 風格あるシンボル景観軸の形成

《景観形成の基本方針》

- ・沿道のまちなみ整備と合わせた風格のある道路景観の形成
- ・視点場となるまちかどの整備・演出
- ・路面電車が走る福井市固有の景観の演出
- ・(旧)北陸道の物語性が感じられる景観の演出



路面電車が走るフェニックス通り

市街地景観形成ゾーン

《景観形成のテーマ》

自然と歴史が共生する 都市景観の形成

《景観形成の基本方針》

- ・近代的な都市景観や賑わいと自然・歴史との調和
- ・道路や公園、河川、建築物などの適正な誘導
- ・統一感や地域の個性が感じられる景観の誘導
- ・花や緑があふれる潤いのある景観の形成
- ・市民主体による身近な景観形成活動への支援



足羽川の水辺景観と遠景の白山

田園景観形成ゾーン(市街地東部エリア)

《景観形成のテーマ》

文化が薫るコシヒカリの里景観の形成

《景観形成の基本方針》

- ・コシヒカリ発祥の地である広大な田園景観の保全
- ・文殊山の麓に広がる糞置荘の文化的景観の保全
- ・白山連峰や文殊山、足羽三山、国見岳などへのパノラマ景観の保全
- ・島状に点在する集落景観の保全



文殊山の麓に広がる糞置荘

山並み景観形成ゾーン(美山エリア)

《景観形成のテーマ》

ぬくもりあふれる杉の里景観の形成

《景観形成の基本方針》

- ・杉山の産業景観、山頂付近の紅葉景観の保全
- ・足羽川と越美北線、山並みが一体となって形成する地域固有の景観の保全
- ・貴重な歴史的景観資源の保全と活用
- ・一乗谷などへアクセスする観光ルートにふさわしい景観の演出



蔵向橋から望む足羽川と山並みの景観

東西水辺景観軸

《景観形成のテーマ》

潤いと花のある水辺景観軸の形成

《景観形成の基本方針》

- ・レクリエーション空間としての広場や散策路等の整備・活用
- ・桜堤や菜の花、コスモスなど、花のある水辺景観の演出
- ・背景となる山並みとの調和に配慮した橋の修景



足羽川の桜堤のライトアップ

田園景観形成ゾーン(市街地北西部エリア)

《景観形成のテーマ》

水と緑と花が輝く田園景観の形成

《景観形成の基本方針》

- ・九頭竜川と田園が融和した自然景観の保全
- ・コスモス広苑に代表される花と緑あふれるふるさと景観の保全・創出
- ・里山と一体となった集落や棚田景観の保全



福井の秋を彩るコスモス広苑

田園景観形成ゾーン(市街地西部エリア)

《景観形成のテーマ》

潤いのあるふるさと田園景観の形成

《景観形成の基本方針》

- ・広大な田園景観の保全
- ・国見岳や足羽三山などへのパノラマ景観の保全
- ・里山と一体となった集落景観の保全
- ・コスモスなどを活用した花のある景観の創出



清水総合支所から望む田園と里山

海岸景観形成ゾーン

《景観形成のテーマ》

海と夕日と水仙が映える 海岸景観の形成

《景観形成の基本方針》

- ・砂浜や奇岩奇勝の地形、海岸線まで迫る山並みなどが織りなす海岸景観の保全
- ・越前水仙畑などの自然景観の保全及び、観光への活用
- ・道路などの公共空間や建築物等の適正な誘導
- ・密集する漁村集落などの地域固有の景観の保全



越前水仙と越前海岸のパノラマ

山並み景観形成ゾーン(国見岳エリア)

《景観形成のテーマ》

日本海と大地を見下ろす パノラマ景観の形成

《景観形成の基本方針》

- ・国見岳や越知山などの四季折々に変化する山並み景観の保全
- ・越前海岸や福井平野、遠くは白山連峰を見渡す視点場の演出
- ・武周ヶ池、滝波ダムなどの良好な水辺景観の保全
- ・人々の生活に支えられている谷あいの棚田景観の保全

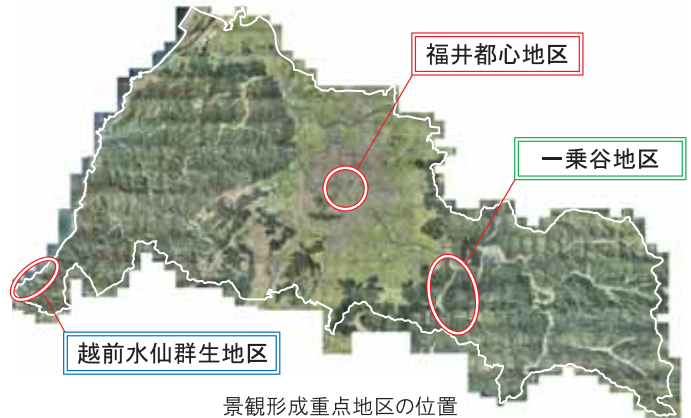


国見岳から望む市街地と遠景の山並み

7. 景観形成重点地区

県都福井市としてのシンボル性やイメージを高め、あるいは、福井にしかない固有の景観を保全するため、特に重点的な景観整備や保全・景観的演出を行うことが重要となる場所を景観形成重点地区として位置付けます。

今後、地域住民の合意形成を図りながら、積極的な景観の整備・保全を行っていきます。



《景観形成の目標》

福井都心 地区

福井らしさを実感できる風格あるシンボル景観の創生

福井らしい景観を象徴する優れた景観資源を良好に保全・活用するとともに、都市空間の中に埋没することのないよう公共空間やまちなみの中に積極的に取り込みながら、市民が誇りをもち、福井らしさを実感することができる、風格のあるシンボリックな景観を創生します

《回遊の道》

- ・潤いと安らぎに満ちた道路空間の整備や回遊ルートの演出、一歩先へ行ってみたいくなる仕掛けづくりを行います

《浜町界限》

- ・浜町特有のまちなみや足羽川に隣接する特性を活かして、歩いてみたいくなるおもてなしの景観を形成します

《東西シンボル景観軸》

- ・JR福井駅を起点に東西に伸びるメインストリートとして、潤いに包まれた風格ある道路景観を形成します

《大名町交差点》

- ・東西・南北のシンボル景観軸が交差するまちの「へそ」として、風格と潤い、賑わいのある空間を形成します

《南北シンボル景観軸》

- ・福井の発展を支え続ける通りとして、沿道建築物の誘導と合わせて、その名にふさわしい風格ある道路景観を形成します

《養浩館庭園周辺》

- ・養浩館庭園及び郷土歴史博物館の歴史的雰囲気と水・緑が一体となった文化の薫り高いまちなみを形成します

《福井城址周辺》

- ・福井城下町の中心であった福井城址の歴史的環境を保全・復原します
- ・都市空間における歴史の核として、周辺地域と一体となって風格あるまちなみを形成します

《桜の回廊》

- ・足羽川の桜堤、さくら通りや木町通りなどの桜の並木を新たな桜並木で結び、回遊性のある桜の回廊を形成します

《JR福井駅周辺》

- ・訪れる人が最初に福井らしさをイメージする場所として、周辺のまちなみ整備と合わせて都市のイメージを高めます
- ・まちなか回遊の起点として、行ってみたいくなる仕掛けづくりを行います

《足羽山周辺》

- ・まちなかに四季を演出する景観的シンボルとして、足羽山の環境を保全します
- ・回遊性の創出や視点場の整備、周辺のまちなみの適正な誘導を行います

《足羽川沿い》

- ・市民に親しまれ、憩いや交流の場となる花と緑に包まれた骨格的な水辺景観軸を形成します

《橋》

- ・足羽川に架かる橋は、水辺景観に対するアクセントを意識してデザインするとともに、視点場として整備・演出します

《中央1丁目周辺》

- ・県都福井市の中心市街地の顔として、賑わいと格調があり、季節の花や緑に包まれた回遊性のあるまちなみを形成します

一乗谷 地 区

《景観形成の目標》

悠久の自然と歴史、生活文化の未来への継承

美しい自然の風景の上に、400年以上が経過した現在も城下町としての栄華を伺わせる朝倉氏の遺跡や、人々の生活や営みなどが融和している“本物が感じられる”景観を、次代へと継承していきます

地区への玄関口として演出します

自然と歴史が融和している良好な景観を保全します

登山道や視点場の整備・演出を行います

電線類の地中化や屋外広告物の規制、デザインや色彩の工夫などにより、通りの物語性を演出します

歴史遺産の保全とともに、夜間のライティングなどによりシンボル性を高めます

《上城戸～小次郎の里エリア》

・朝倉城下の暮らしを支えた一乗谷川と流域の田園景観、それらの背景となる山並みが構成する谷筋に根付いた集落景観や歴史文化を保全します

谷筋の景観に調和するよう、建築物の高さや形態意匠、色彩を誘導します

朝倉街道から一乗谷への玄関口として演出します

伝統的な切妻屋根の家並みを保全します

郷土の景観と調和する川づくりを行います



《天神橋～下城戸エリア》

・悠久の自然と歴史を実感できる郷へのプロローグとして、歴史的な雰囲気漂わせる仕掛けづくりや結節点における景観の演出を行います

歴史の郷への玄関口として良好に修景・演出します

歴史景観と調和する落ち着いたあるまじみの形成を誘導します

《特別史跡エリア》

・貴重な歴史遺産である朝倉氏の遺跡及びその舞台となった山並みや水辺の景観を保全します
・周辺のまちなみの整備・誘導を行い、戦国ロマン漂う、映画のようなロケーションを形成します

登山道や視点場の整備・演出を行います

《小次郎の里～一乗滝エリア》

・一乗谷川の源流域で、歴史的な伝説も残る荘厳な一乗滝へのアプローチとして、地域本来の原生植生への再生を図り、緑の聖域を形成します

越前水仙 群生地区

《景観形成の目標》

人と自然に育まれた文化的景観の保全

日本三大水仙群生地の一つである越前水仙群生地の美しい景観と、長年にわたりこれを育み続けてきた人々の生活や生業が密接に結びついている文化的景観を未来に継承するとともに、福井県を代表する観光・レクリエーション拠点にふさわしい、自然や文化の薫り高い空間を形成します

自然体験型の観光拠点にふさわしい施設の修景、視点場としての整備・演出を行います

人工リーフなどを用いながら漁港を修景します

電線類の地中化、街路灯やサインをデザインし、通りからのビスタを演出します

厳寒に耐える人々の生業と密接に結びついている越前水仙の文化的景観を保全します

奇岩奇勝の海岸線や斜面に咲き誇る水仙畑への視点場として演出します
美しい自然を体全体で感じる場所として、遊歩道を整備・修景します



エントランスとしてもてなしのある修景を行います

地域のランドマークとなっている樹木を保全します

切り立った地形に密集する伝統的な板壁の集落景観を保全します

越前海岸を一望する視点場として演出します

水仙畑と越前海岸を一望する視点場として修景するとともに、アクセス性を高めます

建築物や屋外広告物などを良好に誘導します

8. 景観形成の進め方

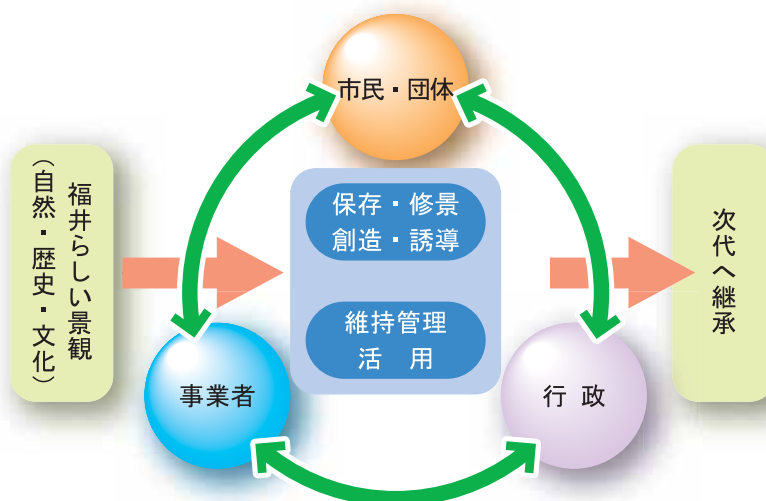
福井らしい景観を形成するためには、行政だけでも、市民や団体、事業者だけでも実現できるものではありません。

これからの景観行政においては、世界に誇れる美しい福井市を創るための基本理念や目標を、市民・団体、事業者、行政が互いに共有するとともに、それぞれの果たすべき役割を明確にしながら、「協働」によって継続的な取り組みを行っていきます。

このために、プライドをもった福井市民の育成、身近な景観まちづくりなどの地域活動の充実、支援や助成などの推進制度の充実、庁内体制の整備など、総合的な支援・推進体制を整えます。

また、福井市は、平成18年4月に「景観法」に基づく「景観行政団体」となりました。

今後、本計画をもとに、景観法に基づく『景観計画』を策定し、良好な景観を形成するための「具体的な基準」などを定めながら、『四季彩織りなす風景都市』の実現を目指します。



地域コミュニティの連携による光のイルミネーション



地域住民の活動による花と緑のまちづくり



市民が種をまき育ててきた足羽川の菜の花ロード

福井市景観基本計画 概要版

四季彩織りなす風景都市 ～住みたくなる心地よい景観をめざして～

平成19年5月

編集・発行：福井市 都市戦略部 コンパクトシティ推進室

〒910-8511 福井市大手3丁目10番1号

TEL 0776-20-5454

FAX 0776-20-5764

e-mail compact@city.fukui.lg.jp